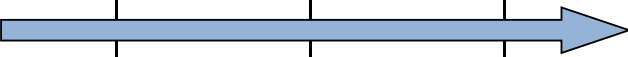


平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課	森
				社協	—	
基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	①	地域住民の理解を促す機会づくり	
取り組み内容	1	「まちづくり出前講座」の中に地域福祉に関するテーマを設け、各地域へ出向いて、市民への意識啓発を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市	実施				

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	広報媒体を広げる。 (広報させば、地域福祉アンケート調査時等)	広報媒体 2→5	50	広報媒体 5	50
【2】	引き続き周知を行い、出前講座への参加団体を増加させる。	参加団体 0団体→3団体	50	参加団体 3団体	50
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕					
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
100	A	目標に対しては確実に実施されており評価できる。さらに周知を図るため、福推協だよりの活用や民間団体の活動での周知などの工夫が必要ではないか。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市の広報媒体を広げる。 (広報させば、地域福祉講演会等で案内する)	広報媒体 5→5	50
【2】	引き続き周知を行い、市の出前講座への参加団体を増加させる。	参加団体 3団体→6団体	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

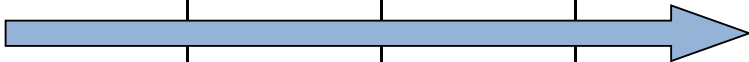
該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日		平成24年6月26日	
担当部会		A	意識づくり部会		担当者		市 保健福祉政策課 森
							社協 地域福祉課 川尻・廣田
基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう						
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	①	地域住民の理解を促す機会づくり		
取り組み内容	2	市民が地域福祉について身近に感じ、よりわかりやすく理解するための講演会や研修会を実施します。					
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
	市 社協	実施					

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	市町連との協働による地域福祉講演会の実施。 (震災から学ぶ地域福祉をテーマにした内容を検討)	参加者数 240人→600人	60	参加者数 135人	30
【2】	地区担当者が、福推協総会・定例会、生涯学習推進協議会等に出席して、地域福祉についての説明を行う。	実施地区数 0地区→33地区	30	実施地区数 33地区	30
【3】	保健・医療・福祉審議会で、地域福祉に関する進捗状況の説明を行う。	実施回数 0回→1回	10	実施回数 1回	10
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕	【1】以外に地域福祉講演会を実施した。(H24.2.9)			参加者数 190人	
〔5〕	【1】以外に世知原地区において地域福祉講演会を実施した。(H24.3.31)			参加者数 51人	
〔6〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	検討結果

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
70	B	講演を行う際は、案内のあて先を当該組織の長だけでなく、ターゲットを明らかにした上で必要となる役職等に対しても行うなど、広報のあり方や開催する時期、時間帯にも配慮が必要と思われる。また、地域福祉そのものの紹介も含めて広報を行えばより効果が期待できるのではないか。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市と社協が、市民を対象とした地域福祉講演会を実施し、市民や福推協推進員、福祉関係事業者などに参加を呼びかける。	参加者数 135人→300人	60
【2】	社協の地区担当職員が、地域福祉についての説明を行うため、福推協総会・定例会、生涯学習推進協議会等に出席する。（昨年度と異なる団体での実施に努める。）	出席地区数 33地区→33地区	30
【3】	市の保健・医療・福祉審議会で、地域福祉に関する進捗状況の説明を行う。	実施回数 1回	10
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	②	広報手段の活用・充実	
取り組み内容	4	ホームページでの地域福祉に関する情報の充実を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	整備	更新			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	市及び社協ホームページに地域福祉に関する情報を掲載及びホームページの周知。	更新掲載回数 0回→毎月1回	40	5回	17
【2】	市及び社協ホームページに地域における福祉活動の情報を掲載及びホームページの周知。	掲載地区数 2地区→33地区	40	6地区	7
【3】	地域福祉に関するアンケート（内容の充実）を実施し、市ホームページで掲載。	実施回数 1回→1回	20	実施回数 1回	20
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕	市ホームページに地域福祉に関する情報（会議等）を掲載した。			6回	
〔5〕					
〔6〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】 【2】	社協ホームページの容量に制限があるためシステムの見直しを検討する。
【3】	地域福祉に関するアンケートのH23年度回収率は38.7%と前年度43.4%より低かった。地域福祉に関する情報を更に発信するよう努める必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	検討結果

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
44	C	平成23年度は、実質的な成果をあげる期間がなかったため、採点は低くなっているが現実的な妥当性から考えると必ずしも不適當とは言えない、適正な評価ができるよう実現可能な目標とすることとし、当該目標の達成に期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市及び社協ホームページに地域福祉に関する情報を掲載及びホームページの周知を行う。(市ホームページから社協ホームページへリンクしています)	更新掲載回数 5回→2ヶ月に1回	40
【2】	市及び社協ホームページに地域における福祉活動の情報を掲載及びホームページの周知を行う。(市ホームページから社協ホームページへリンクしています)	掲載地区数 6地区→15地区	40
【3】	市ホームページに地域福祉に関する情報(会議等)を掲載。	当年度開催数	20
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方をひろげよう	施策の細目	②	広報手段の活用・充実	
取り組み内容	5	広報紙（広報させぼ、社協だより）を通じて地域福祉の情報提供の機会の確保に努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	4回	5回	5回	6回	6回

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	社協だよりに福推協活動を掲載する。	掲載地区数 3地区→33地区	50	掲載地区数 33地区	50
【2】	広報させぼ及び社協だよりに委員会・会議の開催状況を掲載する。	掲載回数 市・社協 (各2回)	20	掲載回数 市 (1回) 社協 (1回)	10
【3】	広報させぼに地域福祉に関する専用スペースを設ける。	毎月掲載 0コーナー→1コーナ	20	毎月掲載 0コーナー	10
【4】	社協だよりに地域福祉・ボランティア活動を掲載する。	3回→3回	10	3回	10
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【5】					
【6】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【2】 【3】	広報させぼには毎月掲載応募が多く、毎月掲載は困難であるが掲載できるよう努める。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
80	A	目標に対する実績については評価できる。特に福推協の活動を全地区分拾い上げたことは大きい。また、取り組みに対する熱意は評価でもさらなる機会の確保に対して成果を期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が社協だよりにおいて福推協活動を引き続き紹介する。	掲載回数 年3回→年3回	50
【2】	市と社協が、広報させば及び社協だよりにより地域福祉計画推進委員会（部会等）の開催状況を掲載する。	掲載回数 市・社協 （各2回）	20
【3】	市が、広報させばに地域福祉に関する情報を掲載する。	掲載回数 3回	20
【4】	社協が社協だよりにより地域福祉・ボランティア活動に関する情報を掲載する。	掲載回数 3回	10
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森
				社協	地域福祉課 川尻・廣田

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	③	次世代のための意識と機会づくり	
取り組み内容	7	福祉用具の体験や、高齢者・障がい者の方々との交流などの機会を通じて、子どもたちの福祉についての意識啓発を図るとともに、「自分は地域の一員」という意識のある小中学生が増えるように努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	基礎調査	基準値 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	学校側にどのような支援が必要であるのかの調査（ヒアリング）を実施する。	0校→74校	40	74校	40
【2】	学校側が福祉教育を推進していけるよう支援する。	0校→26校	30	0校	10
【3】	小・中学校の福祉教育（体験学習など）への講師派遣を継続する。また、NPO・ボランティアとの横のつながり、連携の在り方を検討していく。	8校→26校	10	13校	5
【4】	社協のホームページに福祉用具体験などの様子を掲載する。	0回→2回	10	0回	0
【5】	夏休みを利用し、小・中学生を対象とした福祉用具体験学習を行う。	6日間→6日間	10	6日間	10
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔6〕					
〔7〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
65	B	地域における様々な主体が、地域や学校を対象として福祉教育を行うことは極めて重要である。様々な活動が連携して行われるよう活動の情報を共有するためにも、学校に対して行ったヒアリングの分析をしっかりと行い、効果的に次世代の意識形成が行われるよう工夫すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が市内の小・中学校に行ったヒアリング調査の結果を集計及び分析し、その結果に基づいた学校における福祉教育の推進を支援する。	支援した学校数 0校→25校	50
【2】	社協の地区担当職員が、小・中学校からの依頼に応じ、福祉教育（体験学習など）への講師派遣を行う。（ボランティア・NPOと連携した取り組みの検討も含む。）	派遣した学校数 13校→25校	30
【3】	市が小・中学生の夏休みを利用し、福祉用具体験学習を行う。	6日間→6日間	20
【4】			

(2) 留意事項など

該当No	内容
【1】	ヒアリング調査の分析結果を基に必要な支援策を見出し、メニューの開発に努める。

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日		平成24年6月26日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森		
				社協	地域福祉課 川尻・廣田		
基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう						
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	①	活動の場と参加しやすい雰囲気づくり		
取り組み内容	8	デイクラブやふれあいいきいきサロンなどの住民による交流の場づくりを推進し、その参加者が増えるように努めます。					
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
	市 社協	基礎調査	基準値 +5%	前年比 +5%	前年比 +7%	前年比 +7%	

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	ふれあいいきいきサロンへのヒアリング調査及び分析。	31ヶ所	20	実態把握箇所 21ヶ所	0
【2】	各サロンに応じたメニュー開発の為の支援。	31ヶ所	20	21ヶ所	14
【3】	現在サロンが休止している江迎、吉井地区2ヶ所の再開を支援する。	2ヶ所	10	吉井地区実行中	0
【4】	サロン遊具の貸し出しや社協だより、ホームページで周知を行う。	掲載回数 1回→2回	10	掲載回数 1回	5
【5】	デイクラブの紹介を介護保険サービスガイドに掲載を行い、引き続き市関係施設においてリーフレットの配布を行う。(公民館(24)、社協(1)、包括(4)、長寿(2)、各支所(11)、行政センター(6))	配布場所 31箇所→48箇所	10	配布場所 31箇所	0
【6】	デイクラブ未登録の老人クラブへ職員が出向き、デイクラブの紹介を行い登録を提案する。	登録数 103→276	10	登録数 123	4
【7】	デイクラブ・サロンでの活動について、一元化を含め効率的で効果の高い方法を検討し、一定の結論を得る。	制度設計数 0→1	20	制度設計数 1	20
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【8】	社協の地区担当職員が民児協定例会に出席し、ふれあいいきいきサロンの開設を働きかけた。			28地区	

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【3】	社協が吉井地区の休止問題を解決するのと併せ、江迎地区でも支援を開始する必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
43	C	計画が求めているのは交流場の場づくりの推進と、その参加者を増やすことである。メニューの開発等、場づくりに対する取り組みは引き続き努力していただきたいと考えるが、その上で参加者を増やすということを見据えて取り組まれることを期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協がふれあいきいきサロンへのヒアリング調査及び分析を行う。	実施箇所 0→33ヶ所	30
【2】	社協の地区担当職員が各ふれあいきいきサロンに応じたメニュー開発の為の支援を行う。	支援箇所 21ヶ所→33ヶ所	30
【3】	社協の地区担当職員が現在ふれあいきいきサロンが休止している江迎、吉井地区2ヶ所の活動再開を支援する。	活動再開 0ヶ所→2ヶ所	20
【4】	社協がふれあいきいきサロンの遊具貸し出しを、社協だよりや社協のホームページで周知する。	掲載回数 1回→3回	20

(2) 留意事項など

該当No	内容
【1】	社協がふれあいきいきサロンの登録台帳を作成し現状を把握する。
【2】	デイクラブ廃止により、今までなされた地域での活動がなくならないよう、社協がふれあいきいきサロンへの働きかけを行う。
【3】	社協がふれあいきいきサロンの開催場所の選定や、お世話役の人材確保に努める。

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	②	地域組織による積極的な活動とNPOなどとの連携	
取り組み内容	9	地域住民やNPOなどに、各地区の福推協が主催する住民座談会への参加を呼びかけます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	実施			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	ホームページを活用し案内する。	掲載地区数 1地区→33地区	50	掲載地区数 6地区	9
【2】	地域の会議等で、福推協が主催する住民座談会等への参加を呼びかける。	33地区	50	9地区	14
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
[3]					
[4]					
[5]					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
23	D	ホームページそのものの広報も含め、総花的な情報発信の中から見ると見るべき項目を別途お知らせするなど、広報のあり方を工夫し引き続き参加を呼びかけていただきたい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が、各地区の福推協が関わって実施される住民座談会やイベント、講演会等に地域住民が参加するよう、地域の各種団体の会議等で案内する。	案内地区数 実施地区数	50
【2】	社協が各地区の福推協が関わって実施される住民座談会やイベント、講演会等を社協ホームページ及び社協だよりを活用し案内する。	社協だより 年3回 ホームページ 随時	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

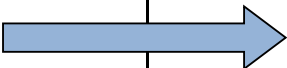
平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

作成基準日

平成24年6月26日

担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 川尻・廣田

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	③	人材の確保	
取り組み内容	10	各地域の中で様々な分野で活動されている方々の情報を、リスト化するなどして把握し、それを活用した地域としての活動を広げていきます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	実施			見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	今年度中に佐世保市にある福祉情報のデータベースを作成する。(福祉分野の制度やサービス等を整理したもの。)	データベース完成	50	データベース完成	50
【2】	地域福祉カルテを作成し実態を把握する。	作成地区数 2地区→33地区	50	作成地区数 33地区	50
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕	福祉情報データベース「地域福祉の手引き」を作成した。			1,000部	
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
100	A	データベースや地域カルテが完成したことは評価できる。データベースやカルテが効果的に活用されるよう期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が「地域福祉の手引き」の情報をシステム化し社協ホームページに掲載する。	掲載・更新	50
【2】	社協の地区担当職員が地域福祉カルテ（「地域福祉台帳」から名称変更）を年2回更新する。	更新地区数 0地区→33地区	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

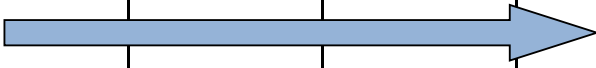
該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	③	人材の確保	
取り組み内容	11	ボランティア研修会などを実施し、幅広い世代の方々に地域福祉活動への積極的な参加を呼びかけます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	ボランティア研修会を開催し、地域福祉活動への参加を呼びかけるとともに、地域福祉について具体的な内容の説明を行う。	開催回数 1回→1回	50	開催回数 1回	50
【2】	地区担当者が、福推協総会・定例会、生涯学習推進協議会等に出席して、地域福祉についての説明を行う。	実施地区数 0地区→33地区	50	実施地区数 33地区	50
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕					
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
100	A	実績に関しては評価できる。幅広い世代への参加を促すために、多様な主体を通じて情報が発信され、地域福祉活動への積極的な参加がなされるよう期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協がボランティア研修会を開催する。	開催回数 1回→2回	50
【2】	社協の地区担当職員が、地域福祉についての説明を行うため、福推協総会・定例会、生涯学習推進協議会等に出席する。（昨年度と異なる団体での実施に努める。）	出席地区数 33地区→33地区	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し、情報を共有しよう	施策の細目	①	地域住民による情報収集の促進	
取り組み内容	12	災害時に、支援が必要な方々にどのような支援を行い、当事者の方々自身はどのように行動すべきかを示す「災害時福祉行動マニュアル（仮称）」の作成を進めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	検討	検討	作成	検証	見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	いきいきサロン及びネットワーク支援者のつどい、食事サービスにおいて災害時福祉支え合い手引きの説明を行う。	実施地区 0→33地区	30	実施地区 19地区	17
【2】	「災害時福祉行動マニュアル（仮称）」（案）の作成（全体計画）（23年度(案)の作成・24年度作成・25年度実施）	1計画	70	23年度(案)の作成 1計画	70
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕					
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	各世帯に配布した方がいいとの意見もあり検討が必要である。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	検討結果

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
87	A	「災害時福祉行動マニュアル」が関係者の理解を得て適正に策定されることに期待したい。また、災害時福祉支え合い手引きについては、引き続き各地区での説明について努力を行っていただきたい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が各地区の福推協総会や定例会等で災害時福祉支援 合い手引きの説明を実施し広く周知する。(いきいきサロン及びネット ワーク支援者のつどい、食事サービスにおいての説明も継続する。)	実施地区数 0地区→33地区	30
【2】	市が「災害時福祉行動マニュアル(仮称)」を作成する。(全体計画) (24年度作成・25年度実施)	1計画	70
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

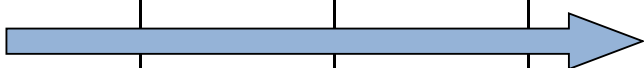
該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し、情報を共有しよう	施策の細目	①	地域住民による情報収集の促進	
取り組み内容	13	「ふれあいネットワーク」の周知と機能の強化を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	西天神町公民館・社協の協働により、福祉サポーター（福祉協力員から名称変更。希望世帯への訪問による安否確認、見守り活動をする人。）のモデル実施。また、ふれあいネットワークと福祉サポーターの整理を行いながら統一した取り組みとなるように進めていく。 ※モデル地区（天神地区西天神町公民館1区） ※福祉サポーターは民生委員との兼任は無し・原則2名体制で訪問	1地区	50	1地区	50
【2】	地域福祉推進委員会(社協)にアンケート結果を報告し、対応策を検討する。	—	50	報告実施	25
No.	(2) その他特筆すべき取り組み	実績			
〔3〕	社協の地区担当職員が各地区の民児協定例会に出席し、ふれあいネットワークについて説明をした。	28地区			
〔4〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
75	B	福祉サポーターについては引き続きこの推進に向けて取り組んでいただきたい。アンケート結果については、その分析をしっかりと行い、他都市での取り組みも研究するなど、その対応を期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が西天神町公民館・社協の協働により、福祉サポーター（福祉協力員から名称変更）設置のモデル事業を継続して行い、サポーター数を増やし訪問する。また、ふれあいネットワークと福祉サポーターの整理を行いながら統一した取り組みとなるように進めていく。 ※モデル地区：天神地区西天神町公民館1区 ※福祉サポーター：希望世帯への訪問による安否確認、見守り活動をする人。民生委員との兼任は無し、原則2名体制で訪問。	サポーター数 4名→10名 訪問先 4件→20件	50
【2】	社協がふれあいネットワークに関するアンケート結果を踏まえ、対応策を検討する。	検討実績	50
【3】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し、情報を共有しよう	施策の細目	②	地域住民と専門機関による連携の促進	
取り組み内容	14	地区ごとに「地域コミュニティケア会議（仮称）」を実施し、市、社協、事業者のほか、地域の活動団体や民生委員・児童委員などを含めた、地域を切り口とした多様な主体によるネットワーク化の促進を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	調整	モデル地区 設置 (3地区)	3地区	6地区	6地区

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	三川内地区の取り組みを検証し、今後のあり方を検討する。	開催地区数 1地区→2地区	40	開催地区数 1地区	20
【2】	三川内地区の取り組みの検証結果を基に継続して実施する。	継続	10	継続	10
【3】	「地域コミュニティケア会議（仮称）」の実施を推進する。	開催地区数 1地区→2地区	50	開催地区数 1地区	25
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕					
〔5〕					
〔6〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
55	C	モデル地区での取り組みから課題と方向性を見極めると同時に、地域性が多様であることを踏まえ、複数の地区での状況を検証していただき、次につなげていただきたい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が三川内地区の取り組みをもとに、今後の地域コミュニティケア会議の実施計画をつくる。	計画の完成	50
【2】	社協の地区担当職員が地域課題把握とその解決のための手段として地域コミュニティケア（仮称）会議が実施されるよう支援する。	実施地区数 1地区→6地区	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 川尻・廣田	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し情報を共有しよう	施策の細目	②	地域住民と専門機関による連携の促進	
取り組み内容	15	各分野においてサービスを提供する事業所の方々を対象に、地域福祉の必要性や各分野の制度・サービスを学ぶための講演会や研修会を実施します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	1回	2回	3回	3回 (見直し)

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	地域包括ケア会議に社協地区担当職員が出席し、地域福祉の必要性について随時説明を行う。	包括会議 (4地区)開催 において適宜説明 を行う。	50	3ヶ所	38
【2】	地域福祉講演会(11月14日)に福祉事業所の参加を呼びかける。	0回→1回	50	0回→1回	50
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕	地域福祉講演会(2月9日)に福祉事業所の参加を呼びかけた。			1回	
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
88	A	地域包括ケア会議における議題に当初から盛り込むなど、確実な実施がなされるよう期待したい。また、ケア会議から地域福祉にフィードバックするような情報共有の視点も持って、質の向上に努めていただきたい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が地域包括ケア会議に出席し、地域福祉の必要性について随時説明を実施する。	実施箇所数 3ヶ所→4ヶ所	50
【2】	社協が、福祉関係事業者に、市と社協で実施する地域福祉講演会への参加を呼びかける。(案内チラシ等を配付する。)	案内回数 1回→1回	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

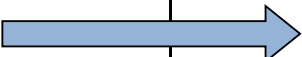
該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 永安	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	①	身近な相談相手づくり	
取り組み内容	16	身近な生活範囲ごとに、その範囲内に暮らす支援が必要な方々の見守りや声かけなどを行う『福祉協力員』の役割を果たす人の発掘に取り組みます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	モデル地区 実施	実施		

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	モデル地区で福祉サポーター説明会及び養成講座を実施し、福祉サポーターを設置する。	福祉サポーター数 0人→10人	50	福祉サポーター数 4人設置	20
【2】	民生委員と連携して訪問先の意向調査を実施し、福祉サポーターの活動を開始する。	活動開始の有無	30	活動開始 (H23.12)	30
【3】	福祉サポーターによる状況報告や意見交換会を実施する。	実施回数 0回→2回	20	7回実施	20
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【4】	【1】とは別に社協がモデル地区の各種団体に福祉サポーターについての説明をした。 (対象：民児協・老人クラブ・食事サービスボランティア・育友会等)			8団体	

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	福祉サポーターを増やすことが必要なため、社協が引き続き養成講座を実施する必要がある。
【2】	社協が民生委員及び公民館役員等と連携して、福祉サポーターを必要とされる方（訪問先）の発掘を行う必要がある。
【3】	社協主導による実施から、地域主導による実施に移行する必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	地域を支える人材育成（福祉サポーターの設置）
検討結果	福祉サポーター活動の手引きの作成、先進地視察研修、ベスト製作等の予算として935千円を予算化した。

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
70	B	希薄な地縁関係の中で4人の人材をサポーターとして確保したことは評価できるが、目標値の半数にも達しておらず、さらなる人材発掘が望まれる。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協がモデル地区と協働で福祉サポーター養成講座を実施し、新たな福祉サポーターを養成する。	福祉サポーター数 4人→10人	40
【2】	社協が民生委員及び公民館役員等と連携して福祉サポーターの活動を周知し、福祉サポーターの活動訪問先を増やす。	訪問先 4件→20件	10
【3】	社協がモデル地区と協働で福祉サポーターによる定例会を実施する。 (地域主導による実施に向け公民館役員等の参加をはたらきかける。)	実施回数 7回→12回	10
【4】	社協が福祉サポーターの活動手引き書を作成する。	手引き書の完成	10
【5】	社協が福祉サポーターを対象とした先進地視察研修を実施する。	実施回数 0回→1回	10
【6】	社協がモデル地区での福祉サポーターの取り組みについて検証する。	検証結果を出す	20

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課	森
				社協	地域福祉課	永安
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	②	相談窓口の充実	
取り組み内容	17	住民が身近に感じる地域の中に、相談窓口が設置されることを推進します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	基礎調査	検討	モデル地区 実施	実施	見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	モデル地区において公民館だより・社協だよりを活用し、福祉サポーターの広報活動を行う。	実施回数 0回→4回	60	実施回数 2回	30
【2】	モデル地区において福祉サポーターが相談を受ける。	1組(2名体制) で5人以上の 相談を受ける	40	2組・4人	16
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【3】	モデル地区の福祉サポーターの活動が新聞に掲載された。			2回	
【4】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【2】	モデル地区で福祉サポーターの認知度が低いため、住民に福祉サポーターの活動を周知するための取り組みが必要である。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	地域を支える人材育成(福祉サポーターの設置)
検討結果	福祉サポーター活動の手引きの作成、先進地視察研修、ベスト製作等の予算として935千円を予算化した。

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
46	C	平成23年度は実質的な成果をあげる期間がなかったようであるので、平成24年度に期待したい。特に相談窓口としての機能強化に努めていただきたい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が公民館だより・社協だより・社協ホームページ・マスコミを活用し、福祉サポーターの広報活動を実施する。	実施回数 2回→4回	30
【2】	社協が民生委員及び公民館役員等と連携して福祉サポーターの活動を周知し、福祉サポーターの訪問先を増やす。	訪問先 4件→20件	60
【3】	社協が福祉サポーターが活動中に着用するベストを作成する。	ベストの作成	10
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課	森
				社協	地域福祉課	永安
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	②	相談窓口の充実	
取り組み内容	18	広報活動を通じて、相談窓口の認知度の上昇を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	基礎調査	前年比 +5%	前年比 +5%	前年比 +7%	前年比 +7%

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	社協ホームページ・社協広報紙で総合相談窓口について掲載する。	掲載回数 1回→6回 (社協ホームページ と広報紙)	40	掲載回数 2回	13
【2】	関係機関、団体との会議の場で総合相談窓口をPRする。 ※社会福祉士会・精神保健福祉士会・司法書士会・地域包括支援センター・自立支援協議会、当事者団体等	実施回数 15回→20回	60	実施回数 16回	48
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【3】	社協が社協だよりに相談窓口を特集して掲載した。			1回	
【4】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	社協が社協だよりに相談窓口に関することを掲載できるよう、調整する必要がある。
【2】	社協が関係機関に対する社協総合相談窓口の認知度を高めるため、PRチラシの作成等を検討する必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
61	B	平成23年度は実質的な成果をあげる期間がなかったようであるので、平成24年度に期待したい。また、広報は繰り返し行うことが重要であるので確実に実行すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が社協ホームページ・社協広報紙で総合相談窓口について掲載する。	掲載回数 2回→6回 (社協ホームページ と広報紙)	40
【2】	社協が関係機関、団体との会議の場で総合相談窓口をPRする。 ※社会福祉士会・精神保健福祉士会・司法書士会・地域包括支援センター・自立支援協議会、当事者団体等	実施回数 16回→20回	50
【3】	社協が総合相談窓口をPRするためのチラシを作成する。	チラシの作成	10
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など


該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 永安	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	②	相談窓口の充実	
取り組み内容	19	総合相談窓口について検討し、開設を目指します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	開設			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	今年度中に佐世保市にある福祉情報のデータベースを作成する。(福祉分野の制度やサービス等を整理したもの。)	データベース完成	50	データベース完成	50
【2】	相談件数を増やす。	前年比+10%	20	5,922件 (目標 6,472件)	18
【3】	相談内容の分析を行う。	分析結果を出す	30	4月～2月分 集計済	27
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕	社協が福祉情報データベースを「地域福祉の手引き」(冊子)として作成した。			1,000部	
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【3】	当該年度の相談内容の全体的な分析結果は、次年度始めに出る。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	福祉情報データベースの作成
検討結果	平成23年度に完成した福祉情報データベース「地域福祉の手引き」をホームページ上に掲載するためのシステム開発費等として5,584千円を予算化した。

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
95	A	データベースを完成させたことは評価できる。今後このデータベースが活用され相談対応の質が向上することを期待する。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が「地域福祉の手引き」の情報をシステム化し社協ホームページに掲載する。	掲載・更新	30
【2】	社協が社協の相談窓口寄せられる相談件数を増やす。	前年比10%	30
【3】	社協が対応した相談内容の分析を行い、結果をもとにした事業を研究する。	分析結果を出し 事業の研究	40
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森	
				社協	地域福祉課 永安	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	3	ふれあい、交流の場をつくろう	施策の細目	①	気軽に集まれる場所づくり	
取り組み内容	20	デイクラブやふれあいいいききサロンの実施場所の増加を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	130カ所	200カ所	276カ所	検証	見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	福推協会長連絡会や定例会でふれあいいいききサロンの開設を働きかける。	33地区	10	33地区	10
【2】	ふれあいいいききサロンへのヒアリング調査及び分析を行う。	31ヶ所	20	実態把握箇所 21ヶ所	0
【3】	現在サロン活動が休止している江迎、吉井地区2カ所の再開を支援する。	活動再開 2カ所	20	吉井地区実行中	0
【4】	デイクラブの紹介を介護保険サービスガイドに掲載を行い、引き続き市関係施設においてリーフレットの配布を行う。(公民館(24)、社協(1)、包括(4)、長寿(2)、各支所(11)、行政センター(6))	配布場所 31箇所→48箇所	10	配布場所 31箇所	0
【5】	デイクラブ未登録の老人クラブへ職員が出向き、デイクラブの紹介を行い登録を提案する。	登録数 103→276	10	登録数 123	4
【6】	デイクラブ・サロンでの活動について、一元化を含め効率的で効果の高い方法を検討し、一定の結論を得る。	制度設計数 0→1	30	制度設計数 1	30
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【7】	社協の地区担当職員が民児協定例会に出席し、ふれあいいいききサロンの開設を働きかけた。			28地区	

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【3】	社協が吉井地区の休止課題を解決するのと併せ、江迎地区でも支援を開始する必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
44	C	制度の統廃合等勘案すべき事情があったことは理解できるが、サロンの場の増加に対して取り組むべき内容については着実に実施すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が福推協の会長連絡会や定例会で、引き続きふれあいいきいきサロンの開設を働きかける。（他の地域の各種団体の会合等も含む。）	実施地区数 33地区→33地区	40
【2】	社協がふれあいいきいきサロンへのヒアリング調査及び分析を行う。	実施箇所数 0ヶ所→33ヶ所	40
【3】	社協の地区担当職員が現在ふれあいいきいきサロン活動が休止している江迎、吉井地区2カ所の活動再開を支援する。	活動再開 2カ所	20
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森	
				社協	地域福祉課 永安	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	3	ふれあい、交流の場をつくろう	施策の細目	①	気軽に集まれる場所づくり	
取り組み内容	21	地域内の公民館や空き店舗などを利用し、「地域のお茶の間づくり（仮称）」と題した地域内での交流の場所づくりを推進します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	検討	検討	モデル実施	実施	見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	先進地視察を行う。	視察実施	50	—	0
【2】	実施場所の調査を行う。	調査実施	50	—	0
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕	社協が熊本市「地域の縁がわ」の内容を資料により把握した。			資料把握	
〔4〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【2】	市及び社協が「交流の場づくり」に向けた実施場所等の調査項目を設定する必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
0	E	平成24年度に仕切り直して確実にを行うこと。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市・社協が「地域のお茶の間づくり（仮称）」に関する先進地視察を行う。（熊本市・地域の縁がわ）	視察実施	20
【2】	市・社協が「地域のお茶の間づくり（仮称）」実施場所等の調査項目を設定する。	調査項目の設定	20
【3】	市・社協が「地域のお茶の間づくり（仮称）」実施場所の調査を行う。	調査実施	20
【4】	市・社協が「地域のお茶の間づくり（仮称）」の具体的な事業計画を作成する。	事業計画の完成	40
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 永安	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	3	ふれあい、交流の場をつくろう	施策の細目	②	コミュニケーションの場の活用	
取り組み内容	22	福推協と連携したあいさつ、声かけ運動を推進します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	実施			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	現状調査に向けて聞き取り項目や内容を整理する。	項目決定	20	項目決定	20
【2】	現状調査を実施する。	調査地区数 0地区→33地区	50	調査地区数 33地区	50
【3】	調査結果を分析し、次年度以降の推進方法を検討する。	分析及び検討	30	未実施	0
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
70	B	調査の実施については行われているものの、推進するにあたって最も重要な分析が行われていない。次年度以降、当該分析結果を踏まえた推進への取り組みにつなげること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が平成23年度に実施した現状調査の結果を分析する。	分析結果を出す	40
【2】	社協が各地区のあいさつ運動が継続して実施されるよう、【1】の分析結果に基づいた支援を行う。	支援の実施	60
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課	森
				社協	地域福祉課	永安
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	①	サービスの情報提供の充実	
取り組み内容	23	視覚、聴覚に障がいがある方などにも配慮しながら、ホームページや広報誌などを利用した、サービスについての情報提供の充実に努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	実施				見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	声の社協だよりのサンプルテープ・CDを社協(1)と老人福祉センター(3)へ設置し、市民(福祉団体等)への周知を行う。	設置場所 0→4箇所	30	設置場所 3箇所	23
【2】	視覚障害者協会会員に、ボランティア情報誌(点訳分)の送付についての希望調査を行う。	実施回数 0回→1回	50	実施回数 1回	50
【3】	市ホームページをH23.3に見直しており、当面は現行のレイアウト等を維持する。	保健福祉部 コンテンツアクセス件数 前年比+10%	20	816,886件 (目標 959,260件)	0
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【4】					
【5】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	次年度はCDに完全移行するため、設置場所に音再生機器(プレクストーク)の確保が必要になる。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
73	B	平成23年度の取り組みに関しては評価できる。平成24年度も引き続き情報提供の充実に努めること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が声の社協だよりのサンプルテープ・CDを社協事務局(1)と老人福祉センター(3)へ設置し、市民（福祉団体等）への周知を行う。	設置場所 3箇所→4箇所	10
【2】	社協が視覚障害者協会会員（希望者）に、ボランティア情報誌（点訳分）を送付する。	希望者への送付	40
【3】	社協が社協ホームページに音声言語システムを導入することについて平成25年度までに検討する。	検討結果を出す	40
【4】	市は引き続き、市ホームページの現行レイアウト等を維持する。	保健福祉部 コンテンツアクセス件数 前年比+10%	10
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森	
				社協	地域福祉課 永安	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	②	サービスを適性に受けられる機会の確保	
取り組み内容	24	成年後見制度および日常生活自立支援事業についての周知を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	実施				見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	社協ホームページ・広報紙で日常生活自立支援事業について掲載する。	掲載回数 1回→6回	20	掲載回数 2回	7
【2】	関係機関、団体との会議の場で日常生活自立支援事業をPRする。	実施回数 15回→20回	30	実施回数 16回	24
【3】	成年後見制度について、制度の概要を含め各課における説明マニュアル等を作成し関係各課への周知を図る。現在制度の案内を市民に対して行っている担当課：長寿社会課・障がい福祉課	部内各課への周知 2課→10課	40	10課	40
【4】	引き続き、ホームページによる周知を行う。	成年後見制度 アクセス件数 前年比+10%	10	334件 (目標 223件)	10
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔5〕					
〔6〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
81	A	平成23年度の活動については評価できる。特に成年後見制度の必要性と需要は高まると想定されるので、引き続き平成24年度に期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が社協ホームページ・広報紙で日常生活自立支援事業について掲載する。	掲載回数 2回→6回	20
【2】	社協が関係機関、団体との会議の場で日常生活自立支援事業をPRする。 ※社会福祉士会・精神保健福祉士会・司法書士会・地域包括支援センター・自立支援協議会、当事者団体等	実施回数 16回→20回	30
【3】	市が成年後見制度のパンフレットを配付設置している保健福祉部各課に引き続き周知を図る。 現在制度の案内を市民に対して行っている担当課：長寿社会課・障がい福祉課（パンフレット設置課：生活福祉課・健康づくり課・生活衛生課・保健福祉政策課・急病診療所・宇久保健福祉センター・子ども保健課・子ども支援課・子ども育成課・子ども政策課）	引き続き 周知を行う	40
【4】	市は引き続き、市ホームページによる成年後見制度の周知を行う。	成年後見制度 アクセス件数 前年比+10%	10

(2) 留意事項など

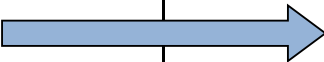
該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課	森
				社協	地域福祉課	永安
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	②	サービスを適性に受けられる機会の確保	
取り組み内容	25	福祉サービスにかかる苦情相談体制の充実を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	検討	実施			見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	前年度の苦情に対する解決結果を社協ホームページ及び社協だよりで公開する。	実施回数 0→2回	30	実施回数 1回	15
【2】	サービス向上委員会を開催し、苦情があった場合には迅速に対応する。	委員会の開催 迅速な対応	30	委員会開催 0回	15
【3】	引き続き窓口アンケートを継続し、市民の福祉サービスへの苦情の把握に努める。	回収実績 前年比+10%	40	実施なし (目標 1,145件)	0
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕	社協の苦情受付件数を集計した。			86件	
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【3】	窓口アンケートの実施は、平成22年度以降3年おきとなっており、23年度は回収実績はなかった。(次回は平成25年度実施)

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
30	D	評価の対象となる項目に実績が無く、評価項目についての検討が必要。具体的な量的判断のできる数値実績が提示される必要がある。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が前年度に寄せられた苦情の解決結果を社協ホームページで公開する。	実施回数 1回→1回	10
【2】	社協内部においてサービス向上委員会を開催し、苦情内容の報告や検証などを行う。	委員会の開催回数 0回→1回	40
【3】	市が市民の方々へ、市の長寿社会課に介護サービス事業所の苦情相談窓口が設置してある旨のお知らせする。(広報させば等)	年2回	10
【4】	市が介護保険利用者へ通知している給付費通知等に、施設に関する苦情相談窓口設置のお知らせを明記し苦情が寄せられた際、迅速に対応する。(担当課：長寿社会課)	$\frac{\text{対応件数}}{\text{苦情件数}}$ (%)	40
【5】			

(2) 留意事項など

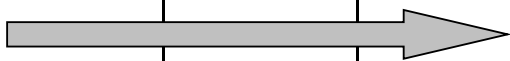
該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課	中尾
				社協	—	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	③	サービスの評価体制の確立	
取り組み内容	26	利用者によるサービス評価制度の導入について検討します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市	基礎調査	検討			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	市として行うべき事項の可能性について検討する。	検討	—	検討した	—
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔2〕					
〔3〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	関係各課からのヒアリングの結果、現段階においては利用者サイドからの評価の必要性が確認できない。医療にこのような制度が無いことを勘案すると、社会福祉施設という選択可能な市場に、利用者評価を公的機関によって行う必要があるかどうかは慎重に検討しなければならない。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
—	—	検討された結果から思料すると、現段階では県や別の実施主体があるので、市としては行うべきではないと判断される。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市として行うべき事項の可能性について検討する。	検討	—
【2】			
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

		作成基準日		平成24年6月26日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課	中尾
				社協	—	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	③	サービスの評価体制の確立	
取り組み内容	27	第三者評価機関を持つ事業者数ならびにその公表を行っている事業者数が増えるように努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市	基礎調査	基準値 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	市として行うべき事項の可能性について検討する。	検討	—	検討した	—
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔2〕					
〔3〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	公的機関における第三者評価は、長崎県が法的根拠に基づいて精力的に実施されている。その専門性も高くなってきており、市がゼロベースでこの評価に取り組むことは、極めて合理性に乏しいと思われる。医療であれば「公益財団法人 日本医療機能評価機構」において医療機関の評価は行われており、地方公共団体はその役割を負っていない。同様に、専門的第三者機関評価が存在する中で、市が税を投入して実施すべきかは慎重に検討しなければならない。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
—	—	検討された結果から思料すると、現段階では県や別の実施主体があるので、市としては行うべきではないと判断される。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市として行うべき事項の可能性について検討する。	検討	—
【2】			
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	①	役割の明確化	
取り組み内容	28	福推協の推進員を対象に、組織の役割の再確認や「地区地域福祉活動計画」の実践に向けた研修会を実施します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	年3回	年3回	見直し	必要に応じて 実施	➡

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	福推協会長連絡会を実施する。	実施回数 年2回→年2回	40	実施回数 年1回 (H23.7.6)	20
【2】	福推協会長先進地（大分市）視察研修を実施する。	実施回数 年0回→年1回	30	実施回数 年1回 H23.9.29～30	30
【3】	各地区で研修会（福推協の目的や役割等）を実施し、推進員の意識を高める。	実施地区数 0地区→33地区 年1回ずつ	30	実施地区数 11地区	10
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕	【1】とは別に、合併地区（吉井・世知原・小佐々・鹿町・江迎）において、福推協会長連絡会を社協が実施した。			年3回	
〔5〕	社協の地区担当職員が福推協総会に出席し、「福推協の手引き」を使って説明を実施した。			25地区	

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【3】	社協の地区担当職員が事前に各地区と調整し、研修会日程を計画に組み入れてもらう必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
60	B	平成23年度は実質的な成果をあげる期間がなかったようであるので、平成24年度に期待したい。あらゆる機会を通じて福推協の役割の浸透が図られていることは評価できる。引き続き実施すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が福推協推進員を対象とした研修会（福推協の目的や役割等）を実施し、推進員の意識を高める。	参加地区数 11地区→33地区	40
【2】	社協が福推協会長連絡会を実施する。	実施回数 年1回→年2回	30
【3】	社協が福推協会長を対象とした先進地（予定：都城市）視察研修を実施する。	実施回数 年1回→年1回	30
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	①	役割の明確化	
取り組み内容	29	「社協だより」や「福推協だより」を通じて、福推協の役割や活動内容について周知するとともに、地域住民も福推協を構成する一員であるという意識づくりに努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	発行に向けての基本様式や作成手順等の情報提供を行う。	提供地区数 8地区→33地区	25	提供地区数 33地区	25
【2】	広報研修を実施する。	参加地区数 0地区→33地区	25	参加地区数 3地区	2
【3】	社協だよりにおける福推協活動の紹介を継続する。	掲載回数 年3回→年3回	30	掲載回数 年3回	30
【4】	社協ホームページで福推協活動等を掲載し、紹介する。 (市ホームページから社協ホームページへリンクしています)	掲載地区数 0地区→33地区	20	掲載地区数 6地区	4
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【5】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	福推協会長連絡会での提供だけではなく、福推協推進員にも基本様式や作成手順等の情報を提供していく必要がある。
【4】	総会や定例会の様子も社協ホームページに掲載していく必要がある。 (イベント的な取り組みだけの掲載をしていたため)

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
61	B	各福推協に対する広報研修については、会長の意識の向上を高めると同時に実施主体も含め、さらに工夫を重ねること。また、各地区における活動情報の収集にあたっては、社協の主体的収集や情報提供にあたっての呼びかけ方にも工夫を凝らすこと。新聞社等の協力を得るなど、手段の充実を図ること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が福推協推進員の研修会で、福推協だよりの発行に向けての基本様式や作成手順等の情報提供を行う。	提供地区数 33地区→33地区	30
【2】	社協が福推協推進員を対象に、よりよい紙面づくりのための広報研修会を実施し参加を呼びかける。	研修参加地区数 3地区→10地区	30
【3】	社協が社協だよりにおいて福推協活動を引き続き紹介する。	掲載回数 年3回→年3回	20
【4】	社協が社協ホームページに福推協活動等（イベント的な取り組み、総会や定例会等の様子）を掲載する。 （市ホームページから社協ホームページへリンクしています）	掲載地区数 6地区→33地区	20
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	②	活動の活性化	
取り組み内容	30	「地区地域福祉活動計画」に基づく実践活動や、地域課題の把握とその解決のための取り組みなどについて検討するため、各地区の福推協の推進員による定例会の実施を支援します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	各地区4回	各地区4回	各地区6回	各地区6回	各地区8回

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	総会とは別に定例的な会議を実施するよう働きかける。	実施地区数 10地区→33地区	40	実施地区数 21地区	25
【2】	地区担当職員による活動計画の進捗状況を整理し、実践に向けての具体的計画（プランニング）を立てる。	整理地区数 10地区→31地区	30	整理地区数 31地区	30
【3】	地域課題把握とその解決のための手段としてコミュニティケア（仮称）会議の開催を支援する。	実施地区数 1地区→2地区	30	実施地区数 1地区	15
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【2】	社協の地区担当職員による進捗状況の整理は行ったが、具体的計画はできていない。
【3】	社協が会議の目的や方向性を明確に示し、新たな地区での実施に向けて準備を進める必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
70	B	項目【3】については、増加することが評価の視点となっていたため、低い達成率となっている。引き続き増加に向けて努力は必要であるが、既に会議の支援を行っていることは評価できる。1年目の検証を踏まえ平成24年度に期待したい。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が、各地区の福推協で総会とは別に定例的な会議が実施されるよう働きかける。	定例会実施地区数 21地区→33地区	40
【2】	社協の地区担当職員が整理した地区地域福祉活動計画の進捗状況を基に、実践に向けての具体的計画（プランニング）を立てる。	計画地区数 0地区→31地区	30
【3】	社協の地区担当職員が地域課題把握とその解決のための手段として地域コミュニティケア（仮称）会議が実施されるよう支援する。	実施地区数 1地区→6地区	30
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	②	活動の活性化	
取り組み内容	31	福推協の役割や活動内容などをまとめた手引書を作成し、推進員の研修会や定例会などで周知して、地域福祉推進の担い手という意識を高めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	作成作業	周知	→		

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	福推協活動の手引きを説明するための機会（定例会）を全地区で確保する。	実施地区数 10地区→33地区	70	実施地区数 27地区	57
【2】	講師を招いての福推協推進員を対象とした研修会を開催する。	参加地区数 0地区→33地区	30	参加地区数 2地区	2
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕	社協が市民を対象とした地域福祉講演会（2回）を実施し、福推協推進員に参加を呼びかけた。			参加地区 26地区	
〔4〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	社協の地区担当職員が全地区で総会以外に定例会・研修会を実施できるように働きかけることが必要。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
59	C	目標に対する評価は低くなっているが、推進員を対象とした研修会は複数の福推協合同の会を開催するなど、効率性が高く、合理的な開催の手法について検討すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が、各地区の福推協の定例会等で福推協活動の手引きを説明する。	実施地区数 27地区→33地区	50
【2】	社協が行う福推協推進員を対象とした研修会（福推協の目的や役割等）に、福推協推進員の参加を呼びかける。	研修参加地区数 11地区→33地区	30
【3】	社協が福推協推進員に地域福祉講演会への参加を呼びかける。	参加地区数 26地区→33地区	20
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	②	活動の活性化	
取り組み内容	32	福推協を構成する一員である地域住民に、「地区地域福祉活動計画」に基づく実践活動への参加を呼びかけます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	—	実施			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	福推協だよりの発行を通して地域住民の実践活動への参加を呼びかけるよう支援する。	発行地区数 8地区→33地区	50	発行地区数 10地区	15
【2】	社協だより、社協ホームページで福推協活動の紹介を行い、地域住民の実践活動への参加を呼びかける。 (市ホームページから社協ホームページへリンクしています)	掲載回数 年3回→年3回 随時 (ホームページ)	50	社協だより 年3回 ホームページ 1回	50
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【3】					
【4】					
【5】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
65	B	作る方法と作る意識を高めることが重要。引き続き地域の意識を高め、結果として目標が達成されるよう努力すること。また、他の媒体も活用するなど手法についても検討すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が、福推協だよりや公民館だより等の紙面に地域住民の実践活動の紹介が掲載されるよう支援する。	掲載地区数 10地区→31地区	50
【2】	社協が地域住民に実践活動への参加を呼びかけるため、社協だよりや社協ホームページで福推協活動の紹介を行う。（市ホームページから社協ホームページへリンクしています）	社協だより 年3回 ホームページ 随時	40
【3】	社協の地区担当職員が地域の各種会合（生涯学習推進委員会、PTAの会合、学校連絡会等）に出席し、計画に基づく実践活動への参加を呼びかける。	出席地区数 31地区	10
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など


該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	③	社会福祉協議会との連携強化	
取り組み内容	33	各福推協の活動状況や課題などについて情報交換を行う機会を設け、各福推協同士の連携強化と活動の活性化を支援します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	実施			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	福推協活動の手引きを説明するための機会（定例会等）を全地区で確保する。	実施地区数 10地区→33地区	40	実施地区数 27地区	33
【2】	福推協会長連絡会を実施する。	実施回数 年2回→年2回	20	実施回数 年1回	10
【3】	福推協会長先進地、大分市へ視察研修を実施する。	実施回数 年0回→年1回	20	実施回数 年1回	20
【4】	講師を招いての福推協推進員を対象とした研修会を開催する。	参加地区数 0地区→33地区	20	参加地区数 2地区	1
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔4〕	社協が、【2】とは別に、合併地区（吉井・世知原・小佐々・鹿町・江迎）において、福推協会長連絡会を実施した。			年3回	
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	検討結果

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
64	B	連携強化の手法としての取り組みは適切な内容となっている。実績が足りないようなので、達成率の低い項目について、引き続き成果の向上を図ること。各取り組みへの具体的コメントについては各施策の細目における取り組み内容を参照のこと。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が、各地区の福推協の定例会等で福推協活動の手引きを説明する。	実施地区数 27地区→33地区	40
【2】	社協が福推協会長連絡会を実施する。	実施回数 年1回→年2回	20
【3】	社協が福推協会長を対象とした先進地（予定：都城市）視察研修を実施する。	実施回数 年1回→年1回	20
【4】	社協が行う福推協推進員を対象とした研修会（福推協の目的や役割等）に、福推協推進員の参加を呼びかける。	研修参加地区数 11地区→33地区	20
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまるう	施策の細目	③	社会福祉協議会との連携強化	
取り組み内容	34	各地区担当の社協職員が、地域の実情や活動経過などを記載した「地域福祉台帳（仮称）」を整備し、その共有や検証を行うことによって福推協への関わりを強化します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	地域福祉カルテ（「地域福祉台帳」から名称変更）を作成して実態を把握し、福推協との関わり強化を図ります。（地域福祉カルテの各地区福推協との共有）	作成地区数 1地区→33地区	60	作成地区数 33地区	60
【2】	地区担当職員による事例検討会を実施します。	実施回数 0回→5回	40	実施回数 1回	8
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕					
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	社協の地区担当職員が各地区の地域福祉カルテを作成したが、福推協との共有までできていない。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
68	B	カルテが作成されてことについては評価できる。ただし、地域の情報に関する共有のあり方、例えば提供される情報の範囲などについて検討すること。また、引き続き職員間の連携を図るための取り組みについても継続すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が地域福祉カルテ（「地域福祉台帳」から名称変更）を年2回更新する。 （実態把握をし、福推協と一部共有した上で関わりの強化を図るため。）	更新地区数 0地区→33地区	60
【2】	社協の内部において地区担当職員による事例検討会（勉強会）を実施する。	実施回数 1回→12回	40
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう					
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	①	地区地域福祉活動計画の周知	
取り組み内容	6	各地区の福推協による「福推協だより」などの広報紙の発行地区数の増加に向けて支援します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	6地区	7地区	8地区	9地区	10地区

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	発行に向けての基本様式や作成手順等の情報提供を行う。	提供地区数 8地区→33地区	60	提供地区数 33地区	60
【2】	広報紙の作り方に関する研修会を実施する。	参加地区数 0地区→33地区	40	参加地区数 3地区	4
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【3】					
【4】					
【5】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	福推協会長連絡会での提供だけではなく、福推協推進員にも基本様式や作成手順等の情報を提供していく必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
64	B	情報提供に関しては実際の作成にあたる推進員まで情報が行き渡るよう工夫すること。新聞社等の協力を得るなど、手段の実施を図ること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が福推協推進員の研修会で、福推協だよりの発行に向けての基本様式や作成手順等の情報提供を行う。	提供地区数 33地区→33地区	60
【2】	社協が福推協推進員を対象に、よりよい紙面づくりのための広報研修会を実施し参加を呼びかける。	参加地区数 3地区→10地区	40
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう					
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	③	地区地域福祉活動計画の検証と見直し	
取り組み内容	35	検証方法を検討し、それに基づいた計画の進捗状況を検証します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検証方法 の検討	検証			

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	地域福祉カルテの作成を通して実態を把握するとともに、福推協とカルテの情報共有を行う。	作成地区数 1地区→33地区	50	作成地区数 33地区	50
【2】	モデル地区（潮見・白南風・早岐・柚木）から随時検証を進め、その支援をしていく。	検証地区数 0地区→4地区	50	検証地区数 1地区	13
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【3】	社協の地区担当職員が地区地域福祉活動計画の進捗状況を整理した。			31地区	
【4】					
【5】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	社協の地区担当職員が各地区地域福祉カルテを作成したが、福推協との共有まではできていない。
【2】	地域住民の意見が反映される検証方法の検討が必要。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	
検討結果	

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
63	B	地域住民の意見が反映される検証は困難。モニター制など地域における意見を吸い上げる手法について検討すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が地域福祉カルテ（「地域福祉台帳」から名称変更）を年2回更新する。 （実態把握をし、福推協と一部共有した上で関わりの強化を図るため。）	更新地区数 0地区→33地区	50
【2】	社協がモデル地区（4地区）及び策定から5年目を迎える地区（10地区）で随時検証を進める。	検証地区数 1地区→14地区	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など


該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう					
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	③	地区地域福祉活動計画の検証と見直し	
取り組み内容	36	進捗状況を踏まえながら地区ごとの地域福祉活動計画の見直しを行います。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	—	—	—	実施	

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	福推協と社協の役割について明確にする。	整理実績	60	内部検討を実施	30
【2】	取り組み内容35の検証結果を基に実践に向けた見直しの支援を行う。(見直しシートの作成・提案)	見直し地区数 0地区→4地区	40	0地区	0
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
〔3〕	地区担当職員による活動計画の進捗状況を整理した。			31地区	
〔4〕					
〔5〕					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【1】	社協内部で検討したものを社協の地域福祉推進委員会等と協議し、整理することが必要。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	地区地域福祉活動計画の策定(江迎・鹿町地区)
検討結果	江迎・鹿町地区において「地区地域福祉活動計画」を策定するため、住民座談会に要する消耗品や計画書印刷の費用、会議費等として616千円を予算化した。

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
30	D	計画の見直しにあたって重要となる福推協と社協の役割について、福推協の理解を得、平成25年度の次期計画策定にも影響することから成果を確実に出していくこと。また、地区計画の見直しについては策定の時と同様の取り組みなどは現実的でなく、見直しのあり方について検討すること。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協が福推協と社協の役割や関係性などについて、社協の地域福祉推進委員会や福推協会長等と検討して整理し明確にする。	整理実績	60
【2】	取り組み内容35の検証結果を基に、社協が「地区地域福祉活動計画」の見直し方法を検討し確立させる。 (検証はモデル地区4地区及び策定から5年目を迎える地区10地区の計14地区で行う)	見直し方法の確立	40
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

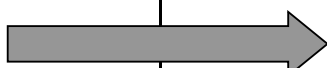
該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	

平成24年度

佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート

				作成基準日	平成24年6月26日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	
基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう					
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	②	地区地域福祉活動計画の実践	
取り組み内容	3	各地区の福推協が主催する住民座談会の実施を支援し、地域住民に参加を呼びかけます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	実施			見直し

1. 平成23年度の実施結果

No.	(1) 部会での検討に基づく内容	評価ポイント	配点	実績	採点
【1】	地区担当職員による活動計画の進捗状況を整理し、実践に向けての具体的計画を支援する。	整理地区数 10地区→31地区	40	整理地区数 31地区	40
【2】	福推協が主催する住民座談会をはじめイベント、講演会等への参加を地域の会議等で呼びかける。	案内地区数 33地区	30	案内地区数 9地区	8
【3】	社協ホームページ及び社協だよりを活用し案内する。	掲載地区数 1地区→33地区	30	掲載地区数 33地区 (社協だより)	30
No.	(2) その他特筆すべき取り組み			実績	
【4】					
【5】					

(3) 実施後の課題

該当No	内容
【2】	社協の地区担当職員が、各地区各種団の会議等へ参加を増やす必要がある。

(4) 予算化を伴う事業の検討結果

事業の名称	検討結果

(5) 評価結果

採点計	判定	評価の概要
78	B	各地区計画の進捗状況が一定把握されたことは評価できる。しかし、福推協が主催する住民座談会やイベント自体が少ない中においては、その案内数を33とすること自体が現実的ではない。実施地区数にしめる案内率など実態に即した目標とすること。また、案内の前提となる住民座談会やイベントの実施に向けた支援に対して力を注ぐべきである。

2. 平成24年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協の地区担当職員が、各地区の福推協が関わって実施される住民座談会やイベント、講演会等に地域住民が参加するよう、地域の各種団体の会議等で案内する。	案内地区数 実施地区数	50
【2】	社協が各地区の福推協が関わって実施される住民座談会やイベント、講演会等を社協ホームページ及び社協だよりを活用し案内する。	社協だより 年3回 ホームページ 随時	50
【3】			
【4】			

(2) 留意事項など

該当No	内容

(3) 平成25年度以降に予算化を伴う事業

事業の名称	
実施予定期間	
事業費	
事業の目的	
主な内容	
事業の効果	